

みずほCustomer Desk Report 2025/01/09号(As of 2025/01/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	158.10 AUD/USD
TKY 9:00AM	158.21	1.0344	163.64	1.2477	0.6235
SYD-NY High	158.55	1.0357	163.78	1.2493	0.6241
SYD-NY Low	157.90	1.0274	162.87	1.2321	0.6188
NY 5:00 PM	158.35	1.0320	163.43	1.2365	0.6216
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,635.20	106.84	日本2年債	0.6500%	0.0180%
NASDAQ	19,478.88	▲ 10.80	日本10年債	1.1700%	0.0400%
S&P	5,918.25	9.22	米国2年債	4.2849%	▲0.0021%
日経平均	39,981.06	▲ 102.24	米国5年債	4.4614%	▲0.0017%
TOPIX	2,770.00	▲ 16.57	米国10年債	4.6922%	0.0082%
シカゴ日経先物	40,020.00	195.00	独10年債	2.5240%	0.0385%
ロンドンFT	8,251.03	5.75	英10年債	4.7970%	0.1140%
DAX	20,329.94	▲ 10.63	豪10年債	4.5060%	0.0300%
ハンセン指数	19,279.84	▲ 167.74	USDJPY 1M Vol	10.58%	0.31%
上海総合	3,230.17	0.52	USDJPY 3M Vol	10.41%	0.22%
NY金	2,672.40	7.00	USDJPY 6M Vol	10.33%	0.15%
WTI	73.32	▲ 0.93	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%	Yen Call Over
CRB指数	297.39	▲ 1.89	EURJPY 3M Vol	10.45%	0.26%
ドルインデックス	109.09	0.55	EURJPY 6M Vol	10.45%	0.24%

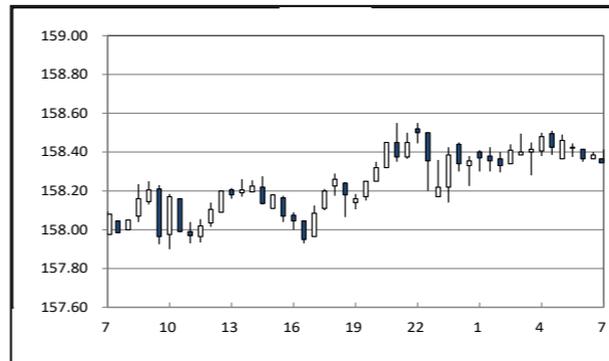
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
1月8日	09:30	豪 CPI(前年比)	11月 2.3%	2.2%	
	16:00	独 小売売上高(前月比)	11月 -0.6%	0.5%	
	16:00	独 製造業受注(前月比)	11月 -5.4%	-0.2%	
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	12月 -14.5	-	
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 1.6%/-1.2%	1.5%/-1.4%	
	22:00	米 ウォラーFRB理事 講演	「追加利下げを支持」		
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 122k	140k	
	22:30	米 新規失業保険申請件数	4-Jan 201k	215k	
	1月9日	00:00	米 卸売在庫(前月比) 確報	11月 -0.2%	-0.2%
		00:00	米 卸売売上高(前月比)	11月 0.6%	0.2%
04:00		米 FOMC議事要旨	「利下げペースの減速、多くが必要性を認識」		
08:30		日 毎月勤労統計 現金給与総額(前年比)	11月 3.0%	2.7%	

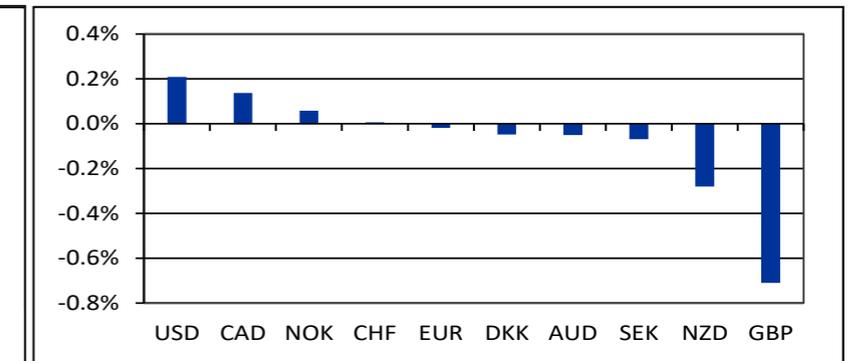
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月9日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	11月 1.0%	0.6%
	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	12月 0.1%/-2.4%	0.2%/-2.5%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 0.3%	-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	157.80-158.80	1.0280-1.0340	162.20-164.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は158円台前半を中心に方向感なく推移。日銀による介入警戒感が煽る中、米国時間にウォラー理事による追加利下げ支持の発言が伝わり、続いて発表された米雇用関連指標の結果は予想を下回ったものの、相場への影響は限定的。新規材料に乏しく、一日を通じてドル円の値幅は65銭に留まった。
 本日のドル円は引き続き底堅い展開を予想。昨日公表されたFOMC議事要旨は、トランプ次期米政権による関税の引き上げも含め、インフレ率の高止まりに警戒感を強める内容となった。これにより今後の利下げペース減速が再認識され、現状のドル買い地合いをさらに後押ししよう。本日は重要指標の発表はないものの、Fed高官による発言機会が相次ぐ。しかし明日に米12月雇用統計の発表を控える状況下、本日も値幅は限定的になるものとみる。

東京	東京時間のドル円は158.21レベルでオープン。オープン後しばらくして一時157.90まで値を下げるなど、午前中は売り圧力が強かったものの、158円を割れた水準では買いもしっかりと入る展開。一方、新規材料のない中で上値を試す雰囲気にもならず、158円前半での推移に留まり、158.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は158.07レベルで寄り付いた。主な指標の発表は無く157.93-158.55で方向感無く推移し、158.50レベルでNYへ渡った。ユーロは1.0354レベルで寄り付いた。ユーロ圏の11月PPIは予想を上回ったものの、市場の反応は限定的であった。その後ポンドの急落につられ、1.0274まで売られ1.0284レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、158.10付近での方向感のない推移が続き、NY勢の参加を前にドル買いが優勢となり、158.55まで上昇し、158.50レベルでNYオープン。日銀の介入警戒が強まる中、オープン直後にウォラー理事の追加利下げを支持する発言が伝わり、続いて発表された米12月ADP雇用統計が予想を下回ったこともあり、158.17まで下落する。続いて発表の新規失業保険申請件数が予想ほど増加しなかったことから一旦下げ渋るものの、158.14まで反落。その後は158.40付近で方向感のない推移が続き、午後は、FOMC議事要旨が発表されたものの、サプライズな内容もなく、その後も方向感のない閑散な推移が続き、158.35レベルでクロスした。一方、ユーロは海外時間にドル買いが優勢となり、1.0274まで下落し1.0284レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、その後はショートカバーからじり高で推移する。午後に入り1.0324まで戻すものの、上値は重く1.0320レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。